



円行の桜

©公益社団法人藤沢市観光協会

目次

景気動向	地域経済(全業種総合)	2
	業種別経済	6
	特別調査	18
お客様景況インタビュー	藤沢工機 株式会社 「～ものづくりの楽しさを多くの人に～」	19
トピックス	「神奈川県景況感について」	3
	「アメリカの雇用統計」	9

調査概要

調査時期	令和5年2月10日から令和5年3月6日まで
調査地域	横須賀市・逗子市・三浦市・三浦郡葉山町・鎌倉市・横浜市・川崎市・藤沢市・茅ヶ崎市 大和市・綾瀬市・高座郡寒川町
調査方法	調査員による面接聞き取り方式又は対象企業先による直接記入方式
分析方法	各質問項目で、「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業の構成比との差(D.I.)を中心にして分析を行いました。
回答率	調査先数 当金庫取引先 500先 回答先 488先 回答率 97.6%

全業種総合天気図

	2022年4～6月	2022年7～9月	2022年10～12月	2023年1～3月	2023年4～6月 来期予想	
全業種総合						
製造業						
卸売業						
小売業						
サービス業						
建設業						
不動産業						
低調	天気図					好調
この天気図は、景気指標を総合的に判断して作成したものです。						

全業種総合

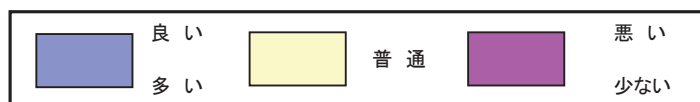
～業況、売上額、収益とも前回調査時の今期見通し上回る～

当期実績(2023年 1～3月期実績)
来期予想(2023年 4～6月期予想)

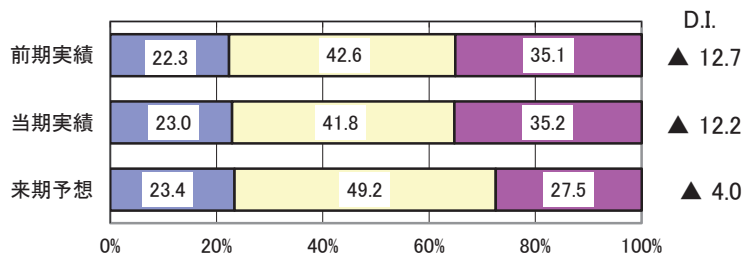
1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

当期の業況判断D.I.は▲12.2と、対前期比0.5ポイントの小幅改善となり、前回調査時における今期見通し(▲18.8)を6.6ポイント上回りました。業種別に見ると小売業、サービス業、建設業は改善となり、建設業は全業種で唯一プラス水準に転じましたが、他の業種は低下となりました。全業種の来期予想D.I.は▲4.0と、8.2ポイントの改善となる見込みです。



業 況

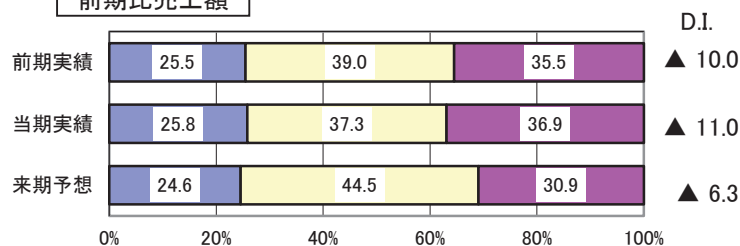


2. 売上 額

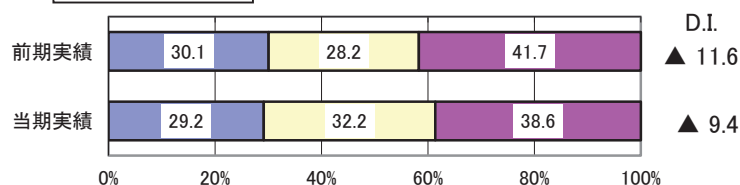
当期 予想
☔ → ☁

当期の売上額判断D.I.は▲11.0と、対前期比1.0ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると小売業、建設業は改善となり、業況同様、建設業は全業種で唯一プラス水準に転じました。対前年同期比の売上額判断D.I.は▲9.4と、10～12月期から2.2ポイントの改善となりました。全業種の来期予想D.I.は▲6.3と、4.7ポイントの改善となる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

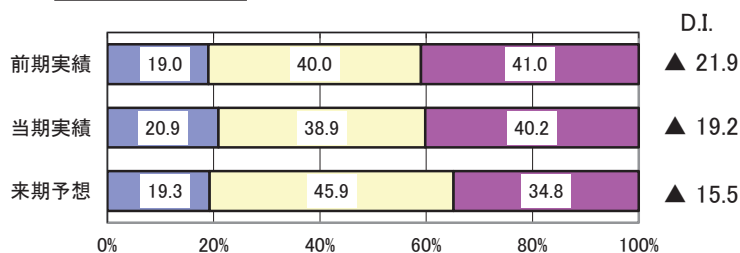


3. 収 益

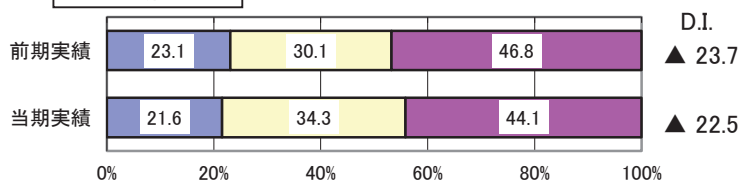
当期 予想
☔ → ☔

当期の収益判断D.I.は▲19.2と、対前期比2.7ポイントの改善となりました。業種別に見ると、小売業、サービス業、建設業は改善となり、建設業は業況、売上額同様、全業種で唯一プラス水準に転じました。対前年同期比の収益判断D.I.は▲22.5と、10～12月期から1.2ポイントの小幅改善となりました。全業種の来期予想D.I.は▲15.5と、3.7ポイントの改善となる見込みです。

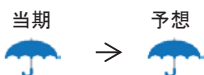
前期比収益



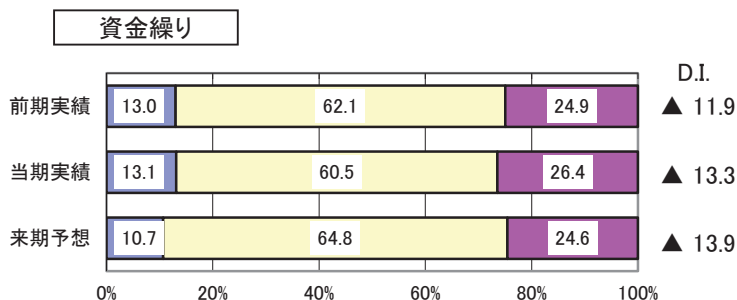
前年同期比収益



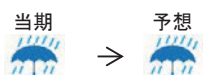
4. 資金繰り



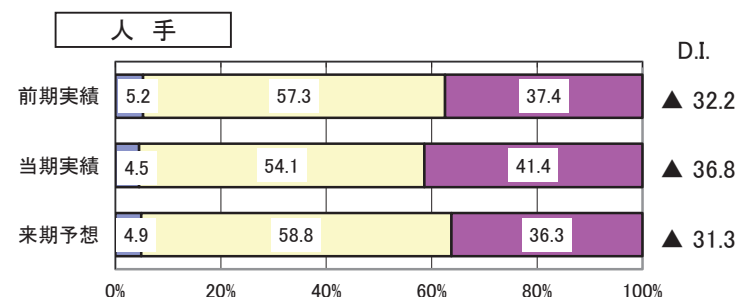
当期の資金繰り判断D. I. は▲13.3と、対前期比1.4ポイントの小幅低下となりました。業種別に見ると、製造業、小売業は改善となりました。不動産業は前期に引き続きプラス水準を維持しました。全業種の来期予想D. I. は、▲13.9と0.6ポイントの小幅低下となる見込みです。



5. 雇 用

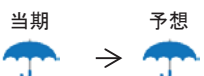


当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲36.8と、対前期比4.6ポイントの低下となりました。業種別に見ると、サービス業、建設業は改善となりましたが、建設業は前期に続き、最も低い水準の業種となりました。来期予想D. I. は▲31.3と、人手不足感は緩和する見込みです。

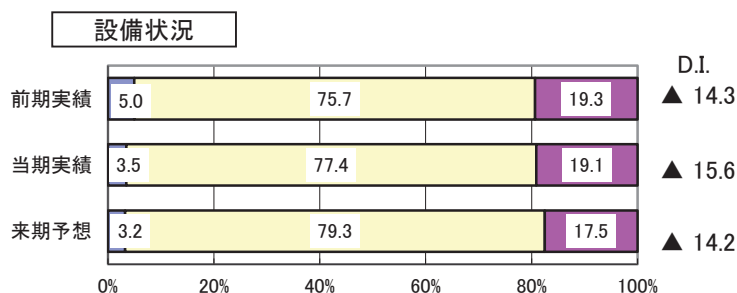


※雇用判断D.I.(過剰-不足) マイナスは人手不足

6. 設備状況



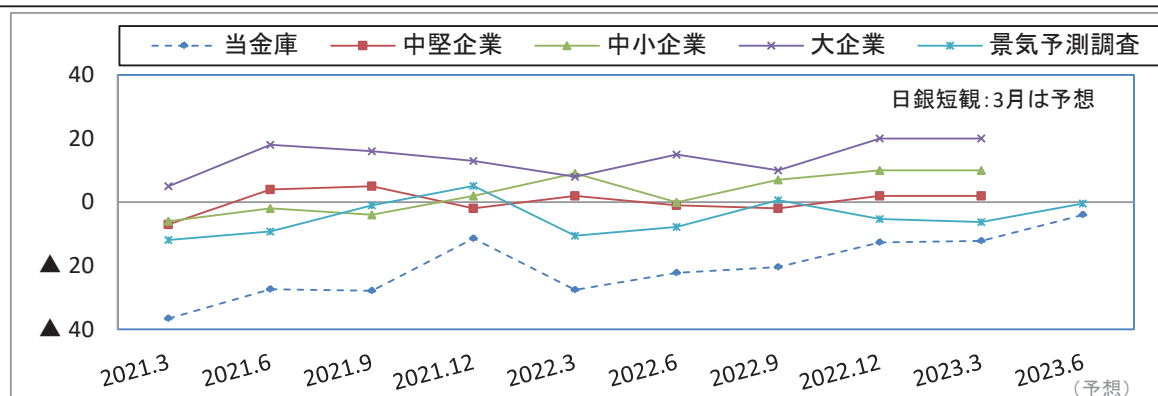
当期の設備状況判断D. I. は▲15.6と、対前期比1.3ポイントの小幅低下となりました。全業種の来期予想D. I. は▲14.2と、不足感は小幅に緩和する見込みです。



神奈川県景況感について

日本銀行横浜支店が発表した神奈川県金融経済概況(2023年3月分)では、「新型コロナウイルス感染症や供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直している」と前回判断が据え置かれました。輸出、生産、個人消費などの項目別判断でも前回判断が据え置かれています。また、財務省関東財務局横浜財務事務所が発表している神奈川県の経済情勢報告(令和5年1月判断)の総括判断は、「県内経済は、持ち直している」と前回判断が据え置かれました。項目別では<生産活動>、<企業の景況感>、<住宅建設>が引き下げられましたが、その他の判断は据え置かれました。<生産活動>の業種別では、輸送機械が増加しているものの、食料品、飲料は横ばいで、化学及び生産用機械が減少となっています。先行きについては、各種政策の効果もあり、景気が持ち直していくことが期待されますが、海外経済の減速により輸出が低迷するリスクや、物価高が企業収益や家計の実質所得への下押し圧力となり、設備投資や個人消費を押し下げるリスクがあることから、引き続き注意が必要です。

日銀短観(企業規模別)、法人企業景気予測調査(横浜財務事務所)、当金庫業況DIの推移

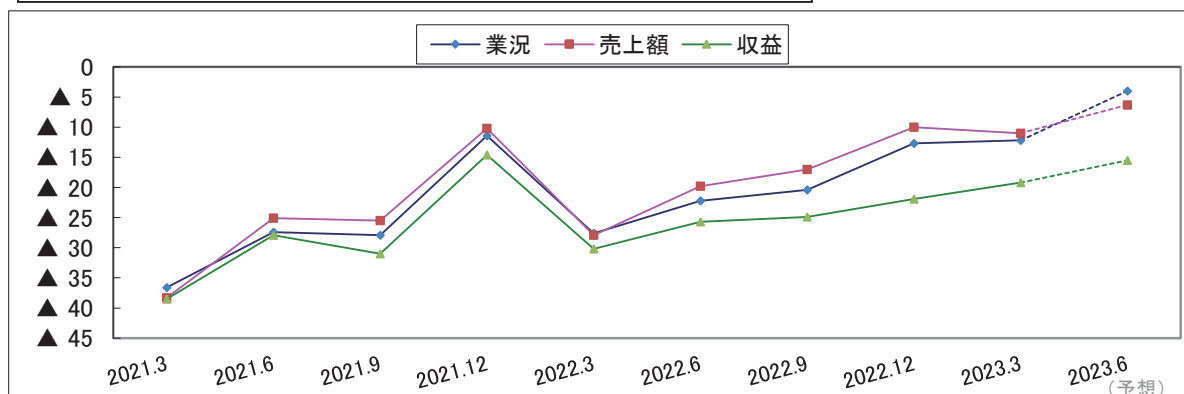


「日銀短観（神奈川県分）」（2023年4月分）は未発表のため、本レポート作成時点では上記短観の調査結果は確認できていませんが、発表済み公的調査において、県内経済は、持ち直していると示されていることから、改善・小幅低下を示した前回調査予測値同程度となることを見込まれます。しかしながら、物価上昇や供給面での制約に引き続き注意することが必要です。

関東財務局横浜財務事務所発表の「法人企業景気予測調査」（令和5年1～3月期）では、全規模・全産業ベースで、▲6.3と前期から1.0ポイントの低下となりましたが、来期は5.9ポイント改善する見込みです。大企業は改善となり、中堅企業、中小企業は、それぞれ低下となりました。先行きについては、大企業、中堅企業、中小企業はそれぞれ改善となる見込みで、大企業はプラス水準に転じる見込みです。業種別では製造業で、電気機械器具製造業等一部の製造業が上昇となり、非製造業では情報通信業や電気、ガス、水道業が上昇となりました。

「当金庫景気動向調査」では、前回調査時業況判断D.I. ▲12.7から0.5ポイント改善し、▲12.2となりました。来期はさらに改善となる見込みで、振れ幅に違いはあるものの、日銀短観や法人企業景気予測調査と近い推移を示しています。

業況・売上額・収益D.I.の推移(全業種総合:当金庫)

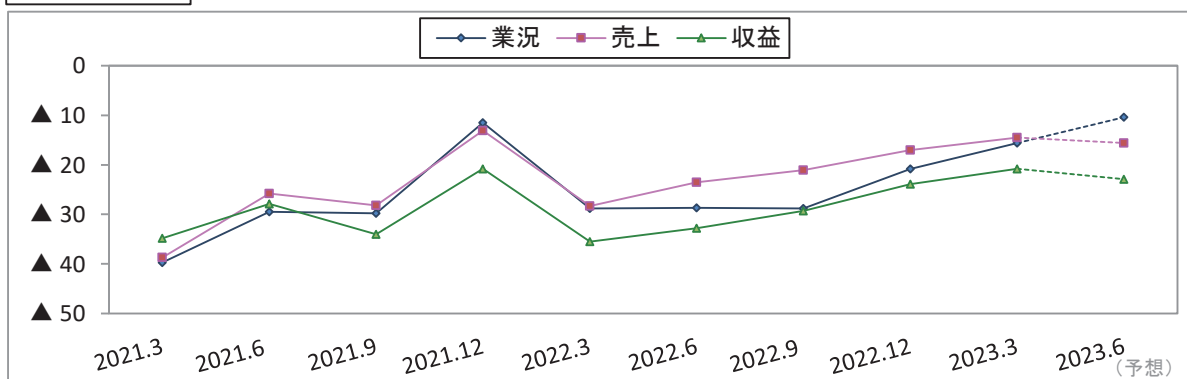


2023年1～3月期の業況判断D.I. は▲12.2と、対前期比0.5ポイントの改善となり、前回調査時における今期見通し（▲18.8）を6.6ポイント上回りました。売上額判断D.I. は▲11.0と、対前期比1.0ポイントの低下、収益判断D.I. は▲19.2と、対前期比2.7ポイントの改善となりました。

「燃料費が高騰しており、電力がどこまで上がるのか、いつまで上がるのかが一番の懸念材料である」（製造業）、「値上がり、物価上昇が激しく、お客様が買うのを控えている」（小売業）、「物資の値上がりや機材の納入等が遅いことが懸念材料である」（不動産業）等、物価の高騰による影響を不安視するコメントが引き続き多く寄せられました。

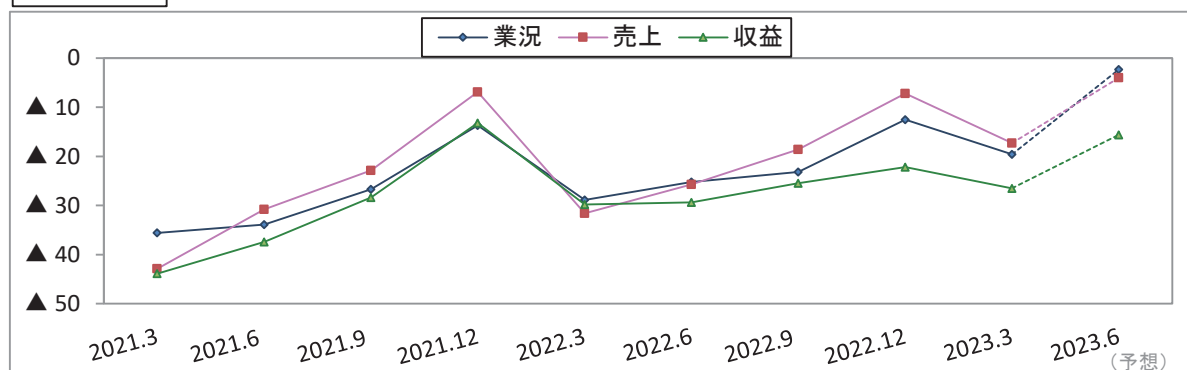
地区別の業況・売上・収益の推移(当金庫)

横須賀地区



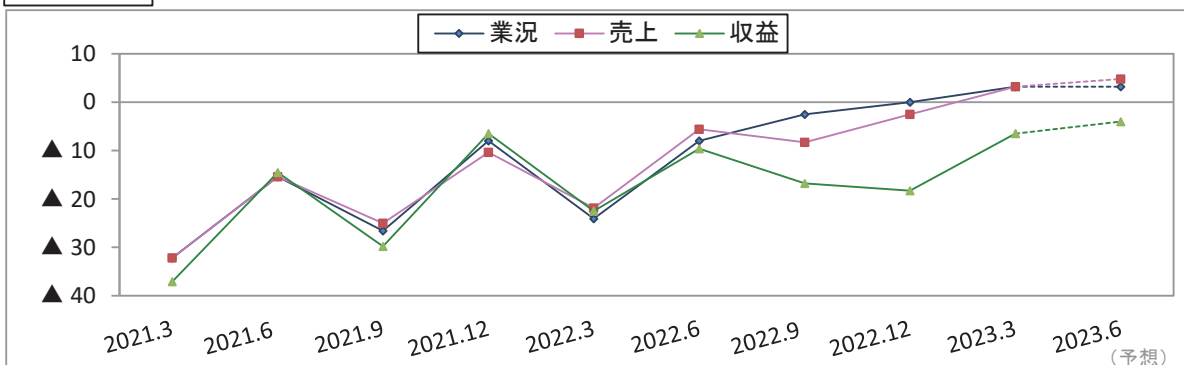
横須賀地区の2023年1～3月期の業況判断D. I. は▲15.6と、対前期比5.2ポイントの改善となり、売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲10.4と5.2ポイント改善する見込みですが、売上、収益については低下を見込んでいます。

横浜地区



横浜地区の2023年1～3月期の業況判断D. I. は▲19.6と、対前期比7.1ポイントの低下となり、売上、収益についても低下となりました。来期予想については、業況判断D. I. は▲2.3と、17.3ポイントの2桁改善となり、売上、収益についても2桁改善を見込んでいます。

藤沢地区

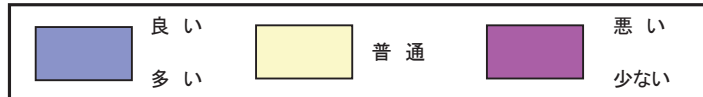


藤沢地区の2023年1～3月期の業況判断D. I. は3.2と、対前期比3.2ポイント改善し、プラス水準に転じました。売上、収益についても改善となりました。来期予想については、業況判断D. I. は3.2と横ばいとなる見込みで、売上、収益についても小幅改善を見込んでいます。

製造業

～業況は卸売業に次いで厳しい水準も、来期はプラス水準となる見込み～

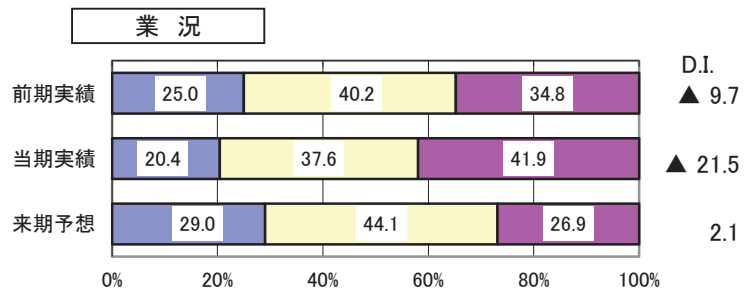
当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

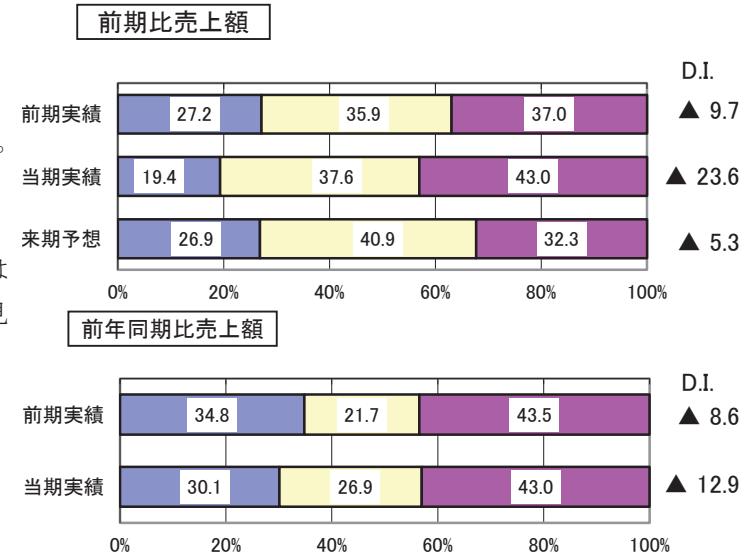
当期の業況判断D. I. は▲21.5と、対前期比11.8ポイントの2桁低下となり、前回調査時における今期見通し(▲19.3)を2.2ポイント下回りました。来期予想については、D. I. は2.1と、23.6ポイントの大幅改善となり、プラス水準に転じる見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☔ → ☁

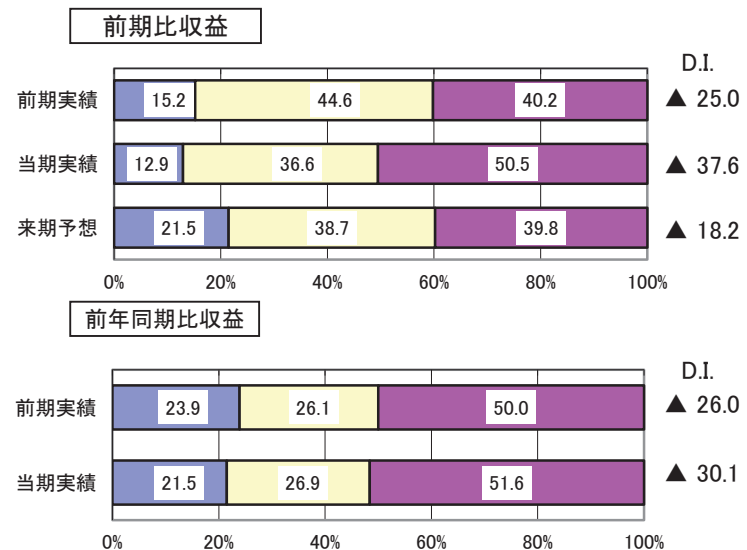
当期の売上額判断D. I. は▲23.6と、対前期比13.9ポイントの2桁低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲12.9と、10～12月期から4.3ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲5.3と、18.3ポイントの2桁改善となる見込みです。



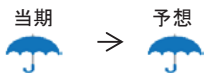
3. 収 益

当期 予想
☔☔ → ☔

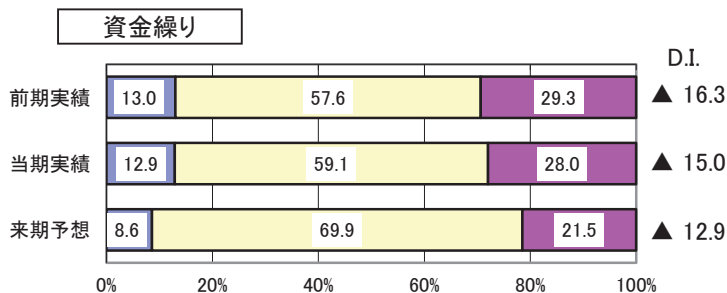
当期の収益判断D. I. は▲37.6と、対前期比12.6ポイントの2桁低下となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲30.1と、10～12月期から4.1ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲18.2と、19.4ポイントの2桁改善となり、マイナス水準ながら最も改善幅が大きな業種となる見込みです。



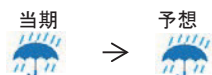
4. 資金繰り



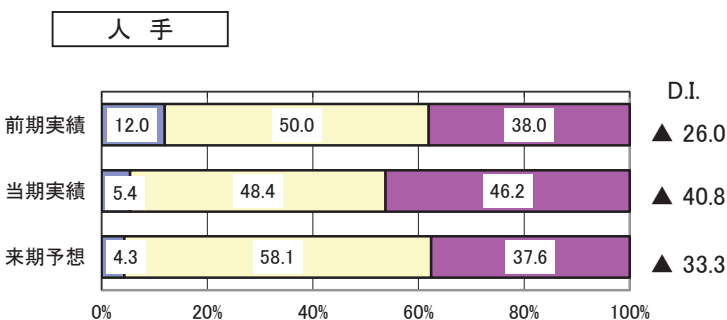
当期の資金繰り判断D. I. は▲15.0と、対前期比1.3ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲12.9と、2.1ポイントさらに小幅改善となる見込みです。



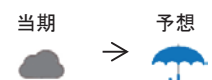
5. 雇 用



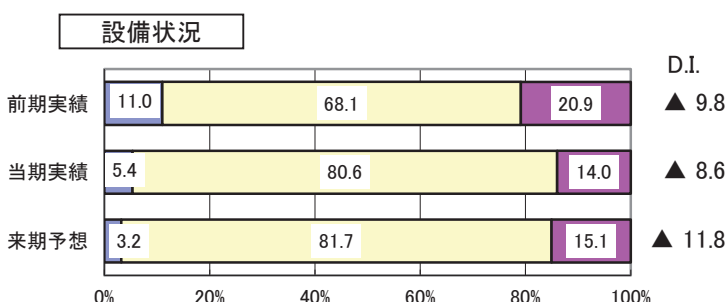
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲40.8と、対前期比14.8ポイントの2桁低下となり、最も低下幅が大きな業種となりました。来期予想については、D. I. は▲33.3と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲8.6と、対前期比1.2ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲11.8と、再び不足感は強まる見込みです。



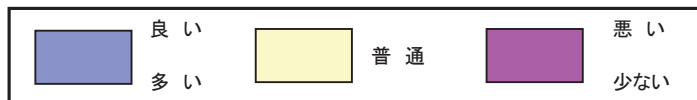
調 査 先 の コ メ ン ト

- 回復の量、速度ともに思っていたより小さく、完全復調はまだ遠い気がする。
- 材料費、電気料金、二次処理費の値上がりについては、受注先に対応してもらったが、半導体等未確保のため生産量の調整がされ、数量的には減少となり売上が伸びていない。
- 季節的な増減はあるものの、幸いにして需要は底堅く推移している。一方、電力や副資材価格の上昇が収益面を圧迫、主原料の高止まりが資金繰りに影響している。
- 益々売上が落ちていく感じがする。
- 事業再構築補助金により設備が導入されたので、受注活動を行っている。うまく受注ができれば、1～2年後の売上、収益とも向上すると思う。
- 今年度は、お取引先の状況もあり、多くを期待ができない。来年度はサプライヤーの部品供給も回復に向かうので、生産計画の改善に期待している。
- コロナ禍が沈静化する中、景気については回復速度が思ったより伸び悩んでいる。そのような環境下においても常にアンテナを張り巡らせて、新たなビジネスの新規開拓を進めていかなければならない。ピンチをチャンスに変えていかなければ未来はないと思っている。
- 半導体不足は解消の見通しがたかない。また、材料高騰による部品値上げで利益が減少した。
- 1月より大規模な機械の入れ替えを行ったため昨年より売上額、収益が減少している。
- 燃料費が高騰しており、電力がどこまで上がるのか、いつまで上がるのかが一番の懸念材料である。

卸売業

～業況、売上額、収益は大幅低下、業況は全業種で最も低い水準に～

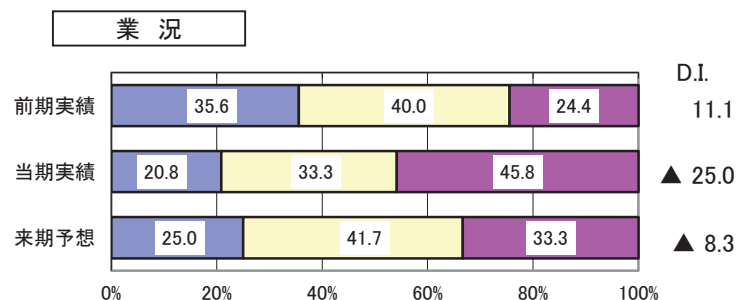
当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)



1. 業況



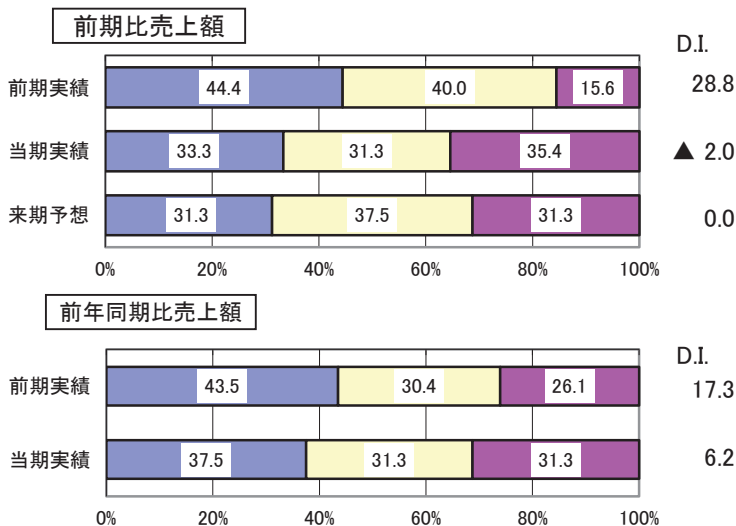
当期の業況判断D. I. は▲25.0と、対前期比36.1ポイントの大幅低下となり、全業種で最も低い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲9.3)を15.7ポイントと大きく下回りました。来期予想については、D. I. は▲8.3と、16.7ポイントの2桁改善となる見込みです。



2. 売上額



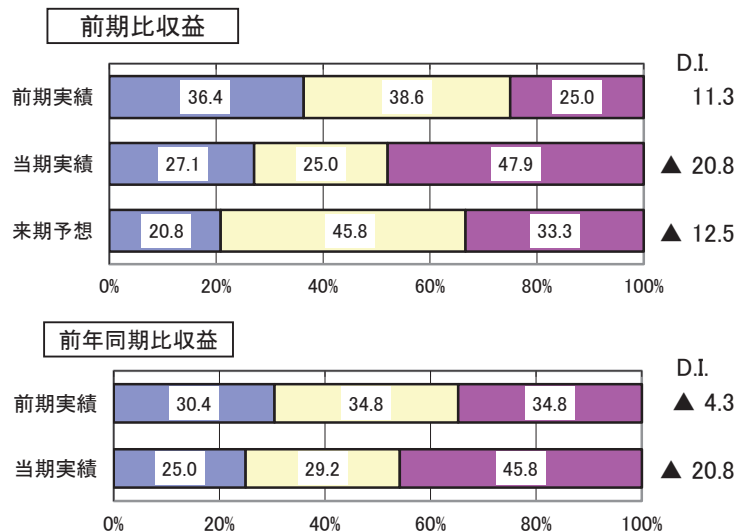
当期の売上額判断D. I. は▲2.0と、対前期比30.8ポイントの大幅低下となり、業況同様、最も低下幅が大きな業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は6.2と、10～12月期から11.1ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は0.0と、2.0ポイントの小幅改善となる見込みです。



3. 収益



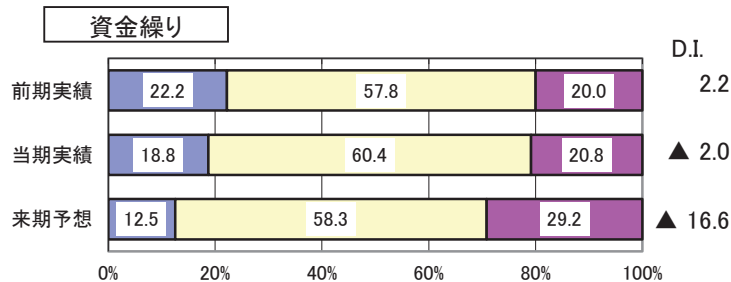
当期の収益判断D. I. は▲20.8と、対前期比32.1ポイントの大幅低下となり、業況、売上額同様最も低下幅が大きな業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲20.8と、10～12月期から16.5ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は▲12.5と、8.3ポイントの改善となる見込みです。



4. 資金繰り



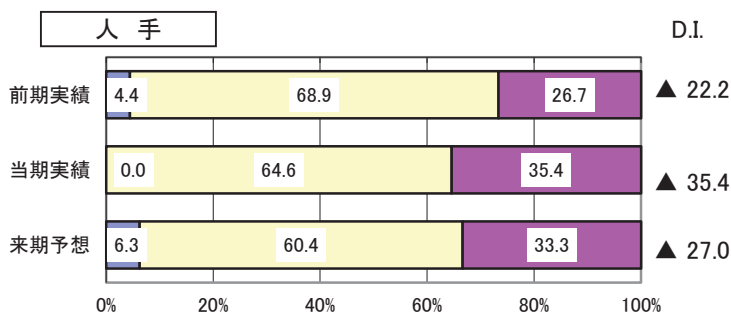
当期の資金繰り判断D. I. は▲2.0と、対前期比4.2ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲16.6と、14.6ポイントの2桁低下となる見込みです。



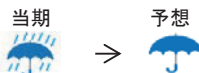
5. 雇 用



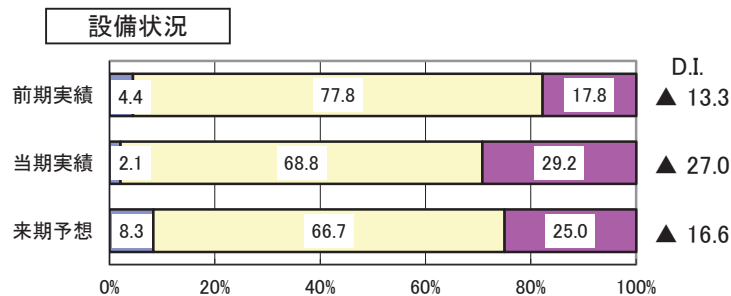
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲35.4と、対前期比13.2ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は▲27.0と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲27.0と、対前期比13.7ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は▲16.6と、不足感は緩和する見込みです。



調 査 先 の コ メ ン ト

- 昨年は資材不足と為替の影響が大きかったが、今年に入ってから燃料コストの上昇が大きく影響しており改善が見込めない。
- 光熱費の負担が重くなっている。

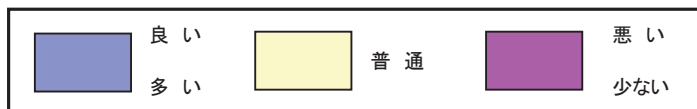
アメリカの雇用統計

アメリカの雇用統計はアメリカの労働省労働統計局が毎月公表している雇用情勢を示す経済指標で、特に注目されるのが「失業率」と「非農業部門の雇用者数」です。当該月の翌月、第一金曜日に公表される速報性の高い指標のため、外国為替、株式、金利等の市場にも影響を与えることから、アメリカの経済指標のなかで最も重要視されています。アメリカの中央銀行にあたるFRBは、政策金利の変更等を検討する際、労働市場の動向を重視しています。アメリカのGDPの約7割は個人消費で占められ、労働市場の状況が消費に大きな影響を与えるからです。一般的に雇用情勢が改善されると消費が上向き景気が良くなります。景気が過熱していると判断されると政策金利が引き上げられ、市場金利も上がるため、高い金利のドルが買われやすくなり、日本市場にも影響を与えることがあります。

小 売 業

～業況は大幅に改善し、来期もさらに改善となる見込み～

当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)

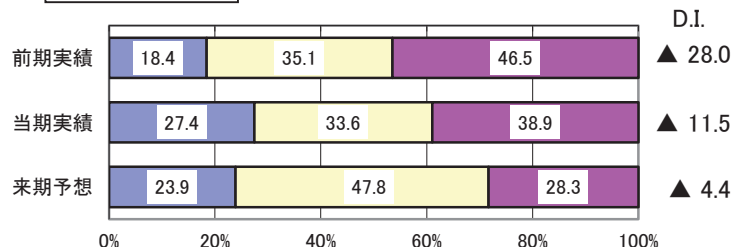


1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

当期の業況判断D. I. は▲11.5と、対前期比16.5ポイントの2桁改善となり、マイナス水準ながら建設業に次いで良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(▲39.2)を27.7ポイントと大きく上回りました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、7.1ポイントさらに改善となる見込みです。

業 況

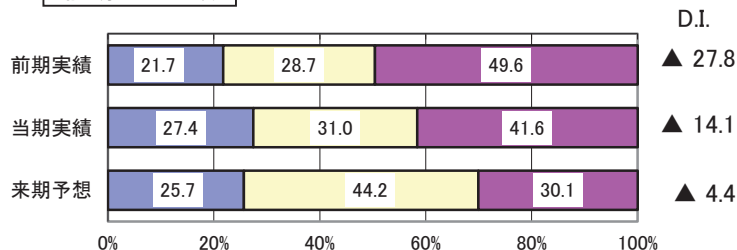


2. 売上 額

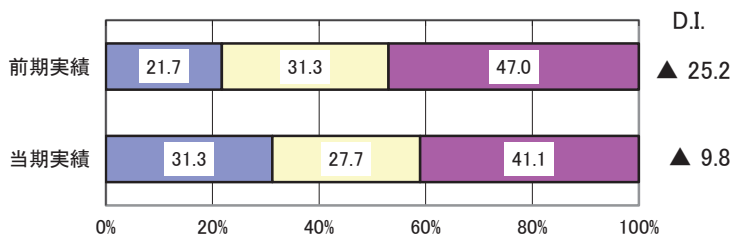
当期 予想
☔ → ☁

当期の売上額判断D. I. は▲14.1と、対前期比13.7ポイントの2桁改善となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲9.8と、10～12月期から15.4ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D. I. は▲4.4と、9.7ポイントの改善となる見込みです。

前期比売上額



前年同期比売上額

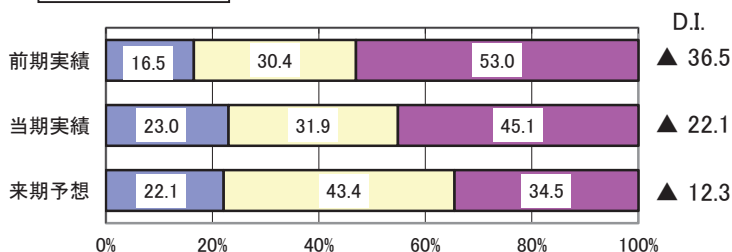


3. 収 益

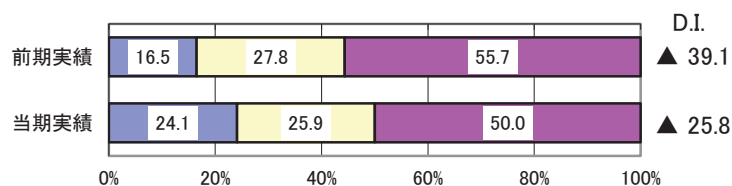
当期 予想
☔ → ☔

当期の収益判断D. I. は▲22.1と、対前期比14.4ポイントの2桁改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲25.8と、10～12月期から13.3ポイントの2桁改善となりました。来期予想については、D. I. は▲12.3と、9.8ポイントの改善となり、マイナス水準ながら最も良い水準の業種となる見込みです。

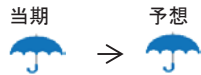
前期比収益



前年同期比収益

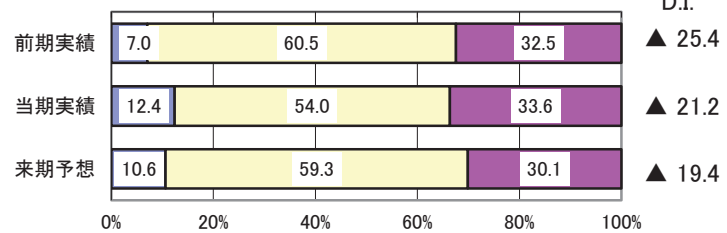


4. 資金繰り

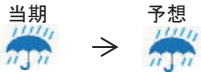


当期の資金繰り判断D. I. は▲21.2と、対前期比4.2ポイントの改善となりましたが、D. I. は最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲19.4と、1.8ポイントの小幅改善となる見込みです。

資金繰り

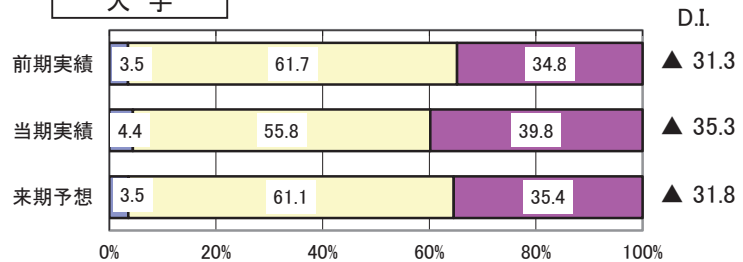


5. 雇用

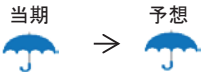


当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲35.3と、対前期比4.0ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲31.8と、人手不足感は緩和する見込みです。

人手

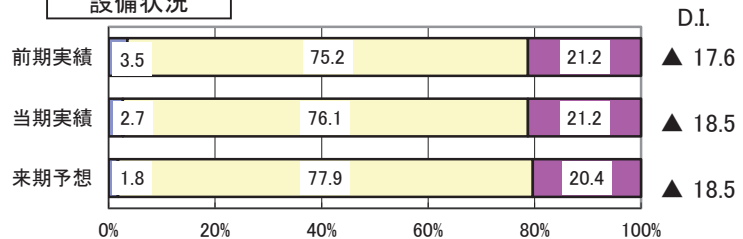


6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲18.5と、対前期比0.9ポイントと小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲18.5と、不足感は横ばいとなる見込みです。

設備状況



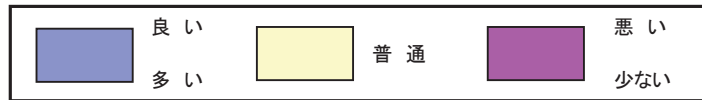
調査先のコメント

- 更なる仕入価格の上昇、人件費を含む諸経費の上昇、その上げ幅に売価が全く追いついていない。
- 半導体以外の要因で商品（車両）の生産が出来ていない。車種によっては、標準装備部品の欠品で生産できず受注も取れない。
- 昨年12月発売した地域プレミアム券が好評で売上UPに貢献した。新型コロナ感染に対して制限が緩和されて、人流の増加が予想され、比例して売上の上昇も期待される。しかし、再度の感染拡大をさせない為にも個人レベルで感染防止対策をしっかりと行っていく必要があると考える。
- 不景気となる要因が多い中、当店で扱う趣味の商品に金が回るはずがない。
- 横須賀市内においても、景気の地域ごとの格差が激しくなってきたと感じる。横浜方面は、単価、客数、平均単価が上昇しているが、三浦、三崎方面は下降している。出店計画においても10～30年後を見据えた土地の選定も難しく感じている。
- コロナ感染者が減り、景気も良くなりつつあるが、人手不足を感じている。
- コロナ対応の緩和策をしているが、現状は変化が見られない。
- お客様が徐々に減少している。
- 値上がり、物価上昇が激しく、お客様が買うのを控えている。
- かながわPayのキャンペーンのお陰で売上が良かった。今後もこのようなキャンペーン行っていたら、大変ありがたい。
- 色々な面でメーカー、卸との間にコロナのコストを理由とした難しい取引が続くそうである。

サービス業

～売上額、資金繰りを除く項目は改善も、厳しい業況続く見込み～

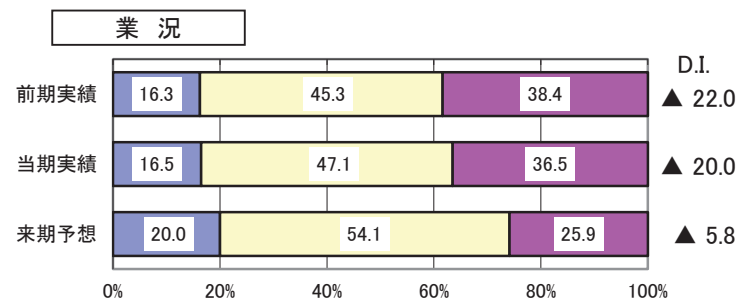
当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☔ → ☁

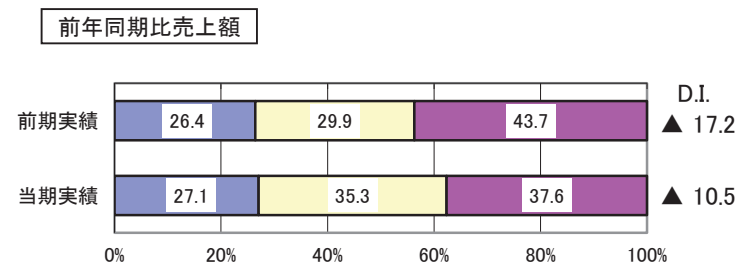
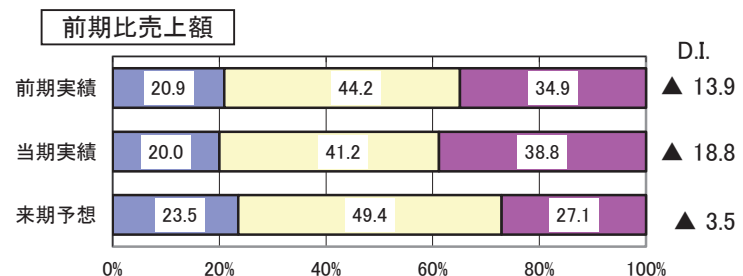
当期の業況判断D. I. は▲20.0と、対前期比2.0ポイントの小幅改善となりました。前回調査時における今期見通し(▲32.5)を12.5ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は▲5.8と、14.2ポイントの2桁改善となる見込みです。



2. 売上額

当期 予想
☔ → ☁

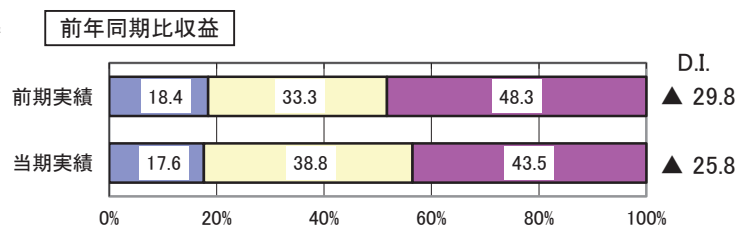
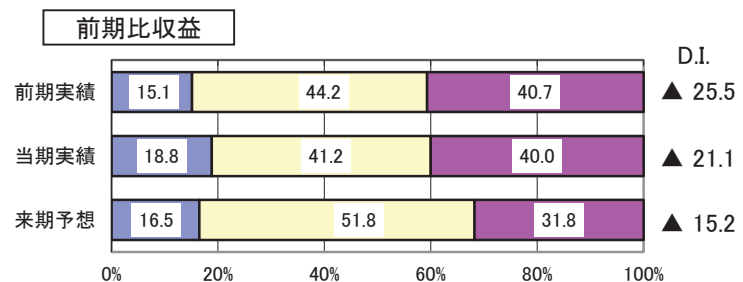
当期の売上額判断D. I. は▲18.8と、対前期比4.9ポイントの低下となり、製造業に次いで、厳しい水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲10.5と、10～12月期から6.7ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲3.5と、15.3ポイントの2桁改善となる見込みです。



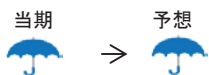
3. 収 益

当期 予想
☔ → ☔

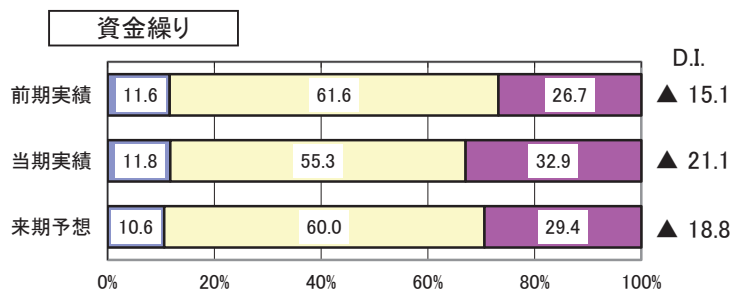
当期の収益判断D. I. は▲21.1と、対前期比4.4ポイントの改善となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は、▲25.8と、10～12月期から4.0ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲15.2と、5.9ポイントの改善となる見込みです。



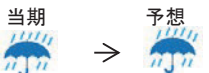
4. 資金繰り



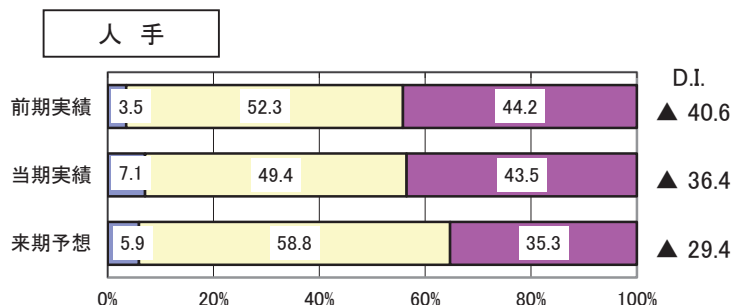
当期の資金繰り判断D. I. は▲21.1と、対前期比6.0ポイントの低下となりました。来期予想については、D. I. は▲18.8と、2.3ポイントの小幅改善となる見込みです。



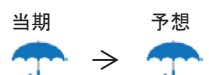
5. 雇用



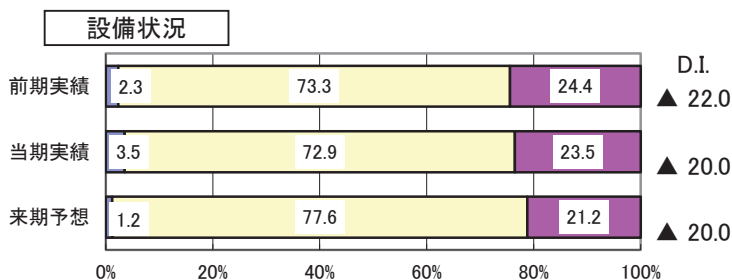
当期の雇用判断D. I. (過剰-不足) は▲36.4と、対前期比4.2ポイントの改善となり、全業種で最も改善幅の大きい業種となりました。来期予想については、D. I. は▲29.4と、人手不足感は緩和する見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲20.0と、対前期比2.0ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲20.0と、不足感は横ばいとなる見込みです。



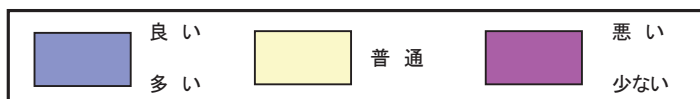
調査先のコメント

- 全国旅行支援などの政府の支援策が、2023年度はどこまで予算化されるのか気にかかる。
- 全ての物価が高騰し、先行きは不明であり読めない。
- 値上げラッシュが家計を圧迫し、その影響が顕著にでている。
- 当職の業務は、景気に左右されるところもあるので、4月以降、日銀総裁の舵取りに注目している。
- 現在の観光業においては、人材不足が最大の問題になっている。
- 世界レベルの動向により、景気が影響を受けるので、発生した事象が仕事へ与える影響を見ないと間違った方向へ行ってしまう。
- デジタル化したいわけでもなく、せざるを得ない状況に不安と負担が大きいと感じている。
- 原材料の高騰のスピードが早く、価格転嫁が間に合わない。国や自治体の援助を期待したい。

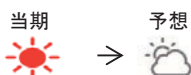
建設業

～業況、売上額、収益は最も良い水準に、業況は来期もプラス水準となる見込み～

当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)

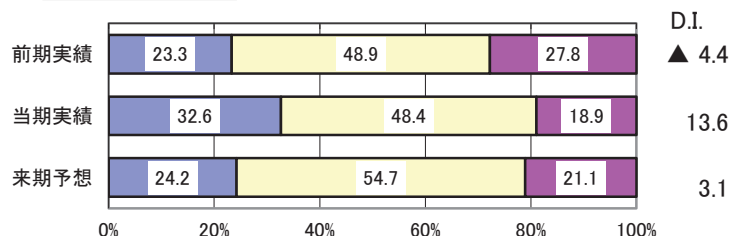


1. 業 況

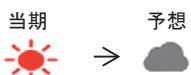


当期の業況判断D. I. は13.6と、対前期比18.0ポイントの2桁改善となり、全業種で最も良い水準の業種となりました。前回調査時における今期見通し(2.2)を11.4ポイント上回りました。来期予想については、D. I. は3.1と、10.5ポイントの2桁低下となりますが、今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。

業 況

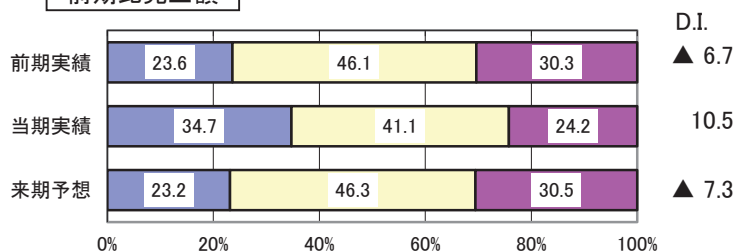


2. 売上額

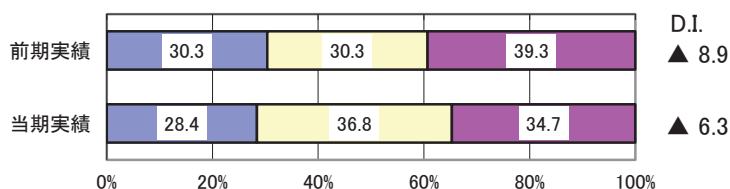


当期の売上額判断D. I. は10.5と、対前期比17.2ポイントの2桁改善となり、業況同様、全業種で最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲6.3と、10～12月期から2.6ポイントの小幅改善となりました。来期予想については、D. I. は▲7.3と、17.8ポイントの2桁低下となり、マイナス水準に転じる見込みです。

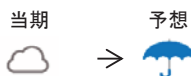
前期比売上額



前年同期比売上額

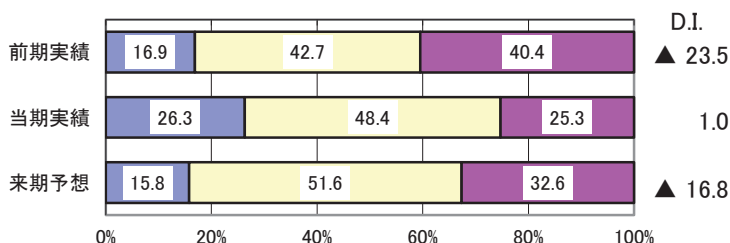


3. 収 益

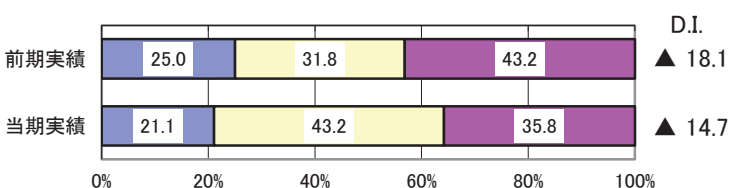


当期の収益判断D. I. は1.0と、対前期比24.5ポイントの大幅改善となり、業況、売上額同様、全業種で最も良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲14.7と、10～12月期から3.4ポイントの改善となりました。来期予想については、D. I. は▲16.8と、17.8ポイントの2桁低下となり、売上同様マイナス水準に転じる見込みです。

前期比収益



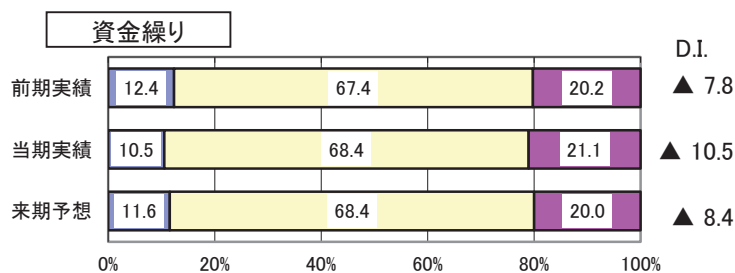
前年同期比収益



4. 資金繰り



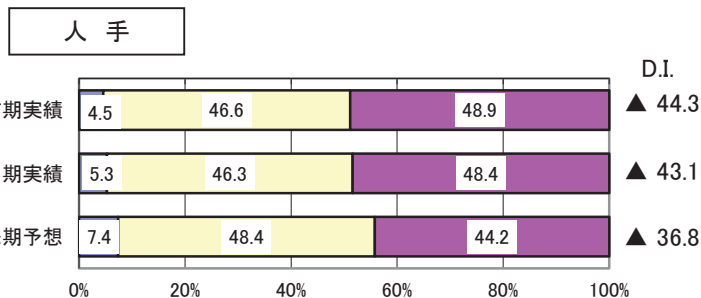
当期の資金繰り判断D. I. は▲10.5と、対前期比2.7ポイントの小幅低下となりました。来期予想については、D. I. は▲8.4と、2.1ポイントの小幅改善となる見込みです。



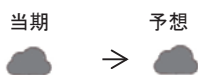
5. 雇 用



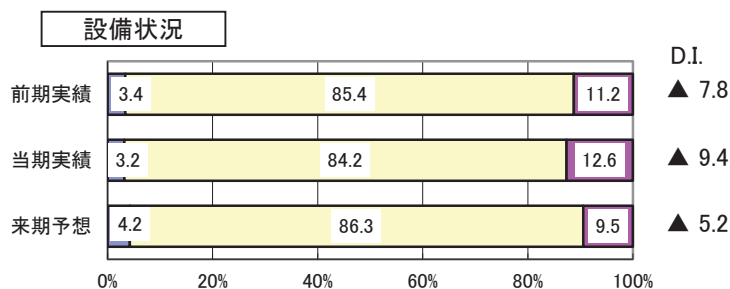
当期の雇用判断D. I. (過剰－不足) は▲43.1と、対前期1.2ポイントの小幅改善となりましたが、最も厳しい水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲36.8と、6.3ポイントの改善となりますが、人手不足感は厳しい水準が続く見込みです。



6. 設備状況



当期の設備状況判断D. I. は▲9.4と、対前期比1.6ポイントの小幅低下となり、マイナス水準ながらも、製造業に次いで良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲5.2と、不足感は緩和する見込みです。



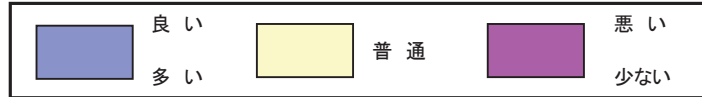
調 査 先 の コ メ ン ト

- 工事受注は増加しているが、資金不足、人手不足で着手できていない。
- 原材料、人件費が高騰しているが、価格転嫁が半分程度しか出来ない中、給与UPを求められるが、難しい状況である。また、金利上昇傾向にあり、今後キャッシュフローには注視が必要である。
- 四半期ごとに材料の値上げが続いており、アスファルト合材、生コンが1月に15%UP、さらに4月から25%UPの要請もきている。失われた30年、物価も給与も上がらないと言われるが、上記材料の価格は、30年前の2倍以上に跳ね上がっているのが現状である。
- リモートワークの増加により、郊外型マンションが増加傾向にある。ある大手建設会社では、着工戸数が10%増との事である。人手不足により、当社を含め受注不能の業者が多発している。
- 仕入材料の値上げ、光熱費の値上げ等が4月以降に予定されており、人件費含め固定費用の再検討が必要である。売価に反映できるかが問題である。
- 住宅ローン金利の上昇傾向に伴う駆け込み需要がある一方、物価上昇に伴う低所得層の購買意欲の低下を感じる。都心から郊外への移住者が相変わらず多い。(特に逗子・葉山地区)
- 建設業の仕事は、引き続き増加しているが、人手不足は改善されていない。今後も同じ状態が長引くと思われる。

不動産業

～人手、資金繰りは最も良い水準も、厳しい業況続く見込み～

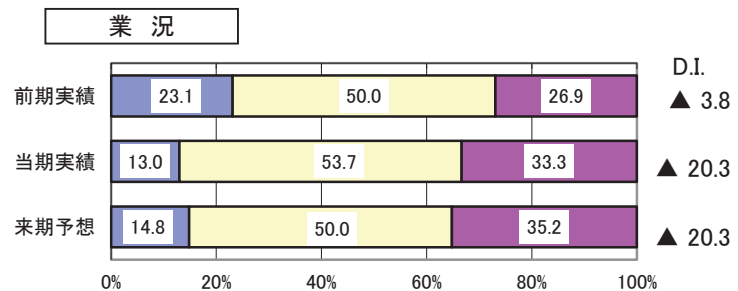
当期実績(2023年 1～ 3月期実績)
来期予想(2023年 4～ 6月期予想)



1. 業 況

当期 予想
☔ → ☔

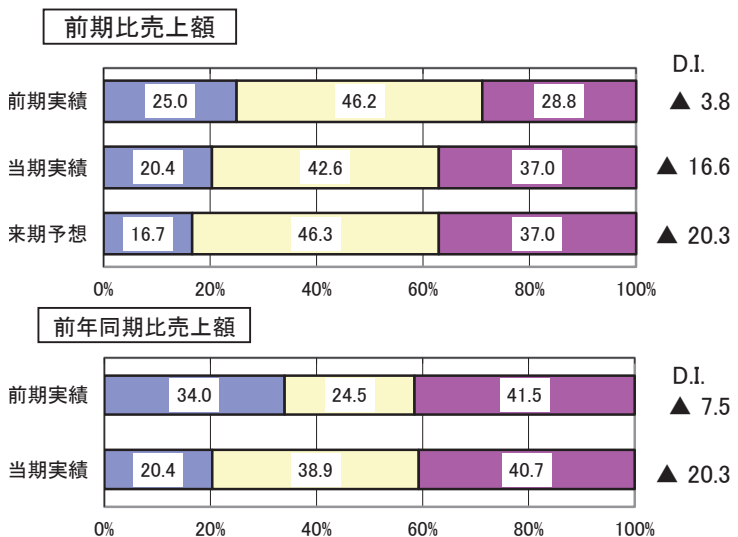
当期の業況判断D. I. は▲20.3と、対前期比16.5ポイントの2桁低下となりました。前回調査時における今期見通し(3.7)を24.0ポイントと、大きく下回りました。来期予想については、D. I. は▲20.3と、横ばいとなり、全業種で最も悪い水準の業種となる見込みです。



2. 売上 額

当期 予想
☔ → ☔

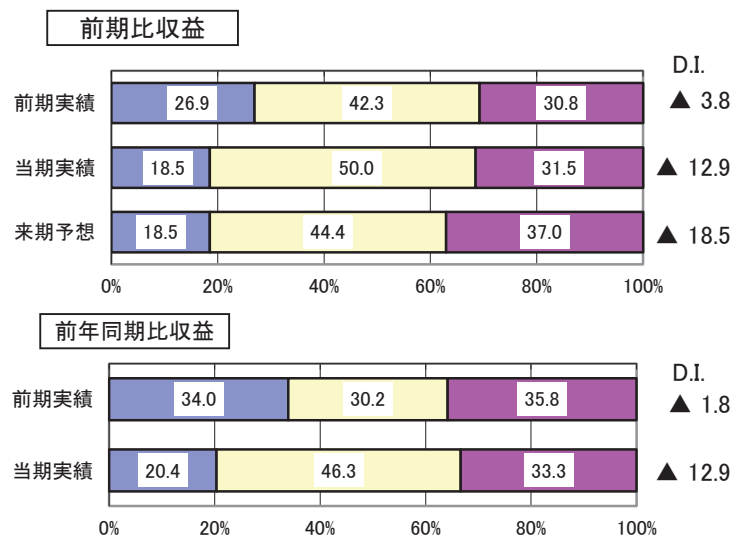
当期の売上額判断D. I. は▲16.6と、対前期比12.8ポイントの2桁低下となりました。対前年同期比の売上額判断D. I. は▲20.3と、10～12月期から12.8ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は▲20.3と、3.7ポイントの低下となり、業況同様、全業種で最も悪い水準の業種となる見込みです。



3. 収 益

当期 予想
☔ → ☔

当期の収益判断D. I. は▲12.9と、対前期比9.1ポイント低下となりましたが、マイナス水準ながら建設業に次いで良い水準の業種となりました。対前年同期比の収益判断D. I. は▲12.9と、10～12月期から11.1ポイントの2桁低下となりました。来期予想については、D. I. は▲18.5と、5.6ポイントの低下となり、業況、売上額同様、全業種で最も悪い水準の業種となる見込みです。

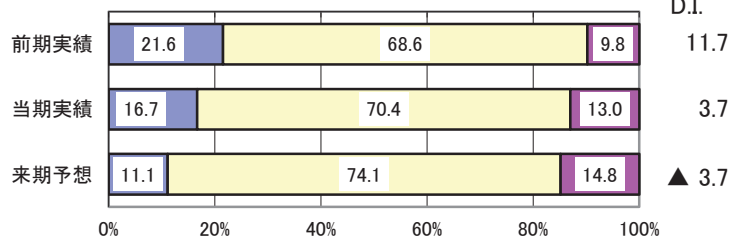


4. 資金繰り

当期 予想
☀️ ➔ ☁️

当期の資金繰り判断D. I. は3.7と、対前期比8.0ポイントの低下となりましたが、全業種で最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. は▲3.7と、7.4ポイントの低下となりますが、今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。

資金繰り

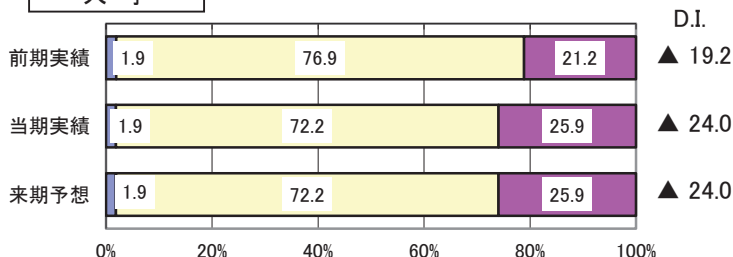


5. 雇 用

当期 予想
☔ ➔ ☔

当期の雇用判断D. I. (過剰－不足) は▲24.0と、対前期比4.8ポイントの低下となり、マイナス水準ながらも、最も良い水準の業種となりました。来期予想については、D. I. ▲24.0と横ばいとなり、今期実績同様、最も良い水準の業種となる見込みです。

人 手

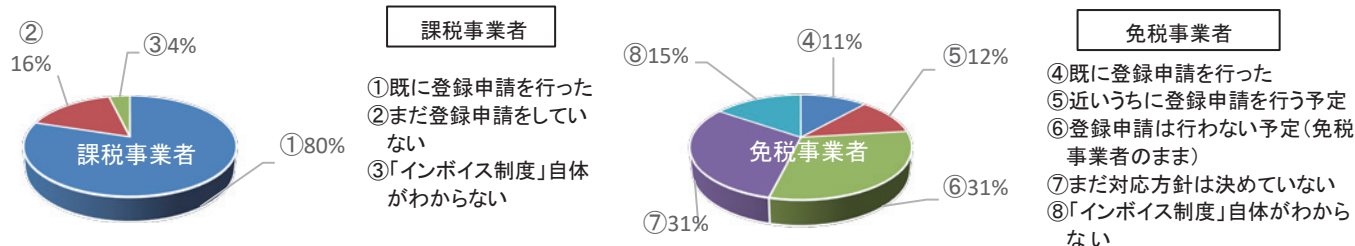


調 査 先 の コ メ ン ト

- 物価高騰等の影響により、建築費が高騰している。また、不動産仕入値も高騰している印象である。
- 仕入価格、原材料価格の高騰が収まらず、収益確保の難しさが増している。コストを販売価格に転嫁したことが影響して販売状況が悪化している。
- 物件（不動産）の動きが悪くなっている。建築コストが高すぎる。
- 諸物価が急激に増加している中で、不動産の賃料は空物件が増加し、顧客が少なく下がっている。中小企業は給料が上がらず、苦しい生活を送っている。給料が上がるようになってくると景気も少しずつ良くなるのではないかなと思う。
- 昨年11月頃より不動産は、高値止まりしている。物件数も減少し始め、現在は通常の30%位と思われる。この状況が3月迄は続くと思っている。また、建築も材料高と住宅ローン金利が不透明なことにより、新規客は見合わせ検討中で契約に至っていない。現在当方では、事業内容の一部方向転換を実施中である。
- 物資の値上がりや機材の納入等が遅いことが懸念材料である。

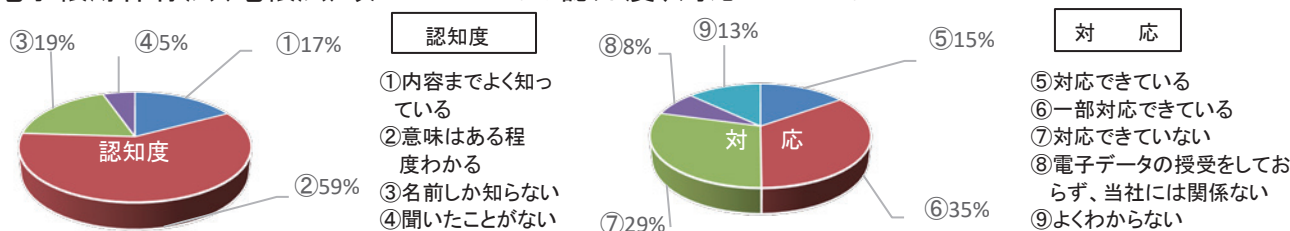
特別調査 ……「中小企業におけるデジタル化への対応について」

1. インボイス(適格請求書)発行事業者への登録申請の対応状況について



登録申請の対応状況については、課税事業者においては①「既に登録申請を行った」が80%を占めた。免税事業者においては、回答数が26と少数であったが、⑥「登録申請は行わない予定」が8社、⑦「まだ対応方針は決めていない」が8社で、それぞれ31%であった。

2. 電子帳簿保存法(電帳法)改正についての認知度、対応について



電子帳簿保存法改正についての認知度、対応については、認知度では①「内容までよく知っている」が17%、②「意味はある程度わかる」が59%で計76%であった。対応については、⑤「対応できている」が15%、⑥「一部対応できている」が35%で計50%を占めた。一方、⑦「対応できていない」が29%であった。

3. 企業間での資金決済における、手形、でんさい(電子記録債権)の利用状況について

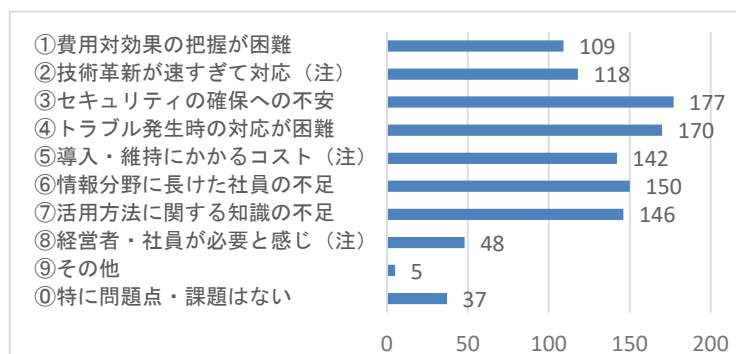
手形、でんさい(電子記録債権)の利用状況では、手形については、「全く使っていない」が339社で最も多く約72%、次いで「取引の10%未満」が65社で約14%であった。でんさいについては、「全く使っていない」が356社で最も多く約80%、次いで「取引の10%未満」が36社で約8%であった。

4. デジタル化投資の費用対効果、今後のデジタル化投資の計画について

デジタル化投資の費用対効果については、「やや満足している」が176社で最も多く約38%、「大いに満足している」が40社で約9%と、満足しているとの回答がおよそ半数を占めた。今後のデジタル化投資の計画については、「現状維持の予定」が214社で最も多く約48%、「拡充する予定」が127社で約29%であった。

5. デジタル化を進める際の問題点・課題について

問題点・課題については、③「セキュリティの確保への不安」が177社と最も多く、次いで④「トラブル発生時の対応が困難」が170社、⑥「情報分野に長けた社員の不足」が150社と続いた。一方、⑧「経営者・社員が必要と感じていない」が48社、⑩「特に問題点・課題はない」が37社であった。
(最大3つまで複数回答)



(注) グラフ②「技術革新が速すぎて対応しきれない」 グラフ⑤「導入・維持にかかるコスト負担が大きい」 グラフ⑧「経営者・社員が必要と感じていない」

藤沢工機 株式会社

代 表 者：代表取締役 工藤 巧
本 社 所 在 地：藤沢市円行1丁目13-15
創 業：昭和45年
事 業 内 容：機械製造業及び精密機械の加工



藤沢市円行にて機械製造業として、高精度の技術で製品を手掛ける藤沢工機 株式会社の代表者のお話を聞かせて頂きました。

I. 当社の強み

昭和45年6月創業、自動車のタイヤを製造するための成型機の製造から組み立てや精密機械の加工を行っています。当社の最大の強みは、成型機の高精度な技術が必要とされる部分の製造を担っていることです。技術力向上や生産性強化のきっかけとなったのは、大型機械の導入です。導入により、機械制御の効率化が実現し、当社が培ってきた加工技術と合わせ、短納期化や低コスト化に繋がりました。創業以降、特殊加工技術力を有する企業として取引先企業とも厚い信頼を築いて参りました。

II. 景況について

新型コロナウイルス感染症拡大により、成型機の完成に必要なボールネジやサーボモーター等の供給不足となり、生産計画が止まる等、現在も供給不足は、解消されていません。また、円安による物価の高騰も影響し、工材等の材料費も材質によっては1.5倍以上となっていますが、価格への転嫁は難しい状況です。景況は不透明な状況が続

～ものづくりの楽しさを多くの人に～

きますが、社員一同、今日までの経験を活かした創意工夫により、困難な状況を乗り越えています。これからも魅力ある「ものづくり」で、お客様に喜んで頂けるよう製品作りに努めていきます。

III. 社員の育成と技術の継承

当社は、社員の育成指導にも時間をかけて行っています。商品の品質を最優先に考え、お客様目線となって取組むよう指導しています。失敗したら、なぜ失敗したのか、どうしたら良いのかを考え、その経験が当社の技術力の向上に活かしています。大きな機械を扱うことから、社員の安全には十分配慮し、先代から引き継いだ経験や技術をこれからの社員に継承していききたいと思います。当社を支える大切な社員が働きやすい環境で仕事ができるようサポートしていきます。

IV. 将来への取り組み

人手不足や社員の高齢化に直面していることから、若い社員を増やし活気ある会社を目指していきます。これからの時代は、設備が大事になってくると思います。古い機械をハイスペックな機械に更新し、新しい機械を導入し、永年の取引先との信頼と経験を活かしていきたいです。「ものづくり」の楽しさを伝え、お客様から喜んでいただける手段を社員一同考え、培ってきた技術と経験を継承し、更なる品質向上の研究に努めていきます。



代表取締役 工藤 巧

かなしん よろず相談承り処 にご相談ください！

かなしん よろず相談承り処は、かながわ信用金庫が運営する「なんでもご相談窓口」です。

かながわ信用金庫 かなしん よろず相談承り処

フリーダイヤル：0120-0468-01（受付時間 10：00～19：00）

場所：横須賀市大滝町2丁目21番地（三笠ビル商店街内）

営業時間：10：00～19：00（12月31日、1月1、2、3日を除く）

《かなしん よろず相談承り処について》

- ◎平日夜まで、土日も開いています。
 - ・平日・土日ともに19時まで、各種ローンや資産運用、創業や事業承継等の幅広いご相談を承ります。また、金融商品以外の相談もお待ちしています。昼間はお仕事などで忙しい方も、夕方や土日にご相談いただけます。
 - ◎専門家による個別相談を開催します。
 - ・税理士などによる個別相談を定期的に開催しています。お客さまのプライバシーに配慮した専用ブースもご用意していますので、安心してご相談ください。
 - ◎セミナーを開催しています。
 - ・2階のセミナールームでは、暮らしやライフプラン、事業経営、健康など様々なテーマのセミナーを開催しています。セミナーのお知らせは、随時ホームページにてご案内します。
 - ◎サロンスペースをご用意しています。
 - ・1階には、皆さまにおくつろぎいただけるサロンスペースをご用意しています。
- ※ 駐車場は、市役所前公園の地下駐車場をご利用ください。窓口にて駐車チケットをお渡しします。

本レポートは、情報提供のみを目的とした標記時点における当金庫の考え方を示したものです。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなされますようお願いいたします。また、この資料は、当金庫が信頼できると考える情報源から得た各種データに基づいて作成されていますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

発行 かながわ信用金庫
 住所 〒238-0004 横須賀市小川町7番地
 TEL 046-826-1515（平日9:00～17:00）
 編集 株式会社 かなしんトータルサービス
 住所 〒235-0023 横浜市磯子区森1丁目10番10号
 TEL 045-263-6363（平日9:00～17:00）

かながわ信用金庫
かなしん